

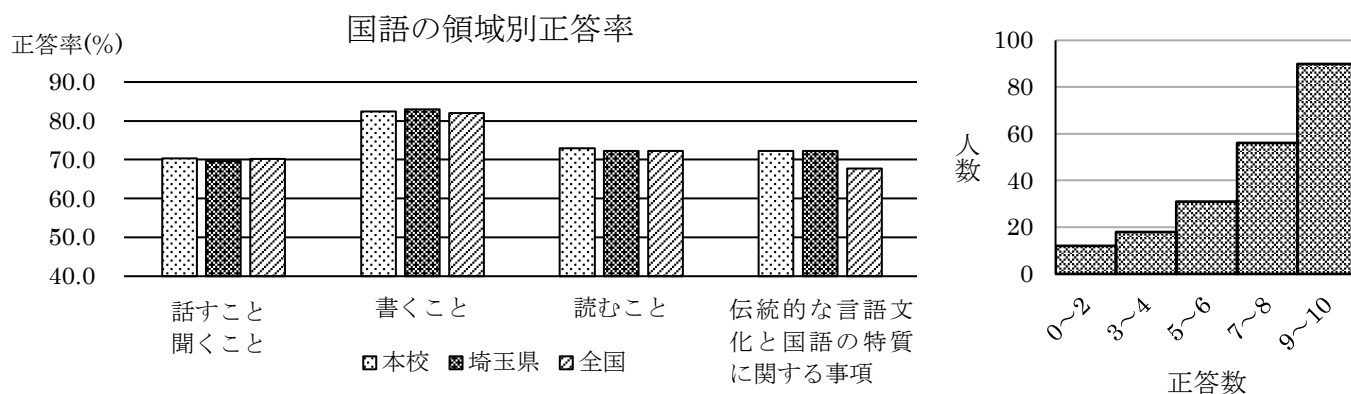
この学力調査は、平成31（令和元）年度の中学校3年生を対象に実施したものです。したがって、学校全体の傾向を表すものではありません。

また、本分析・考察は全国（公立）及び県（公立）平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化を表すものではありません。

グラフは、成果や課題を表す領域や相関関係があるものについて掲載しました。

学力調査の結果と考察

国語は「話すこと・聞くこと」に課題



国語で正答率が全国平均を上回った問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ	69.6	63.9
「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	61.8	56.8
話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	84.5	80.4
話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する	71.0	69.7
語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する	82.6	78.7

国語で正答率が全国平均を下回った問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	60.4	61.5
「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ	88.9	91.2
話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなかったこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	55.6	60.4
意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	87.0	87.4

＜今後の学習指導に当たって＞

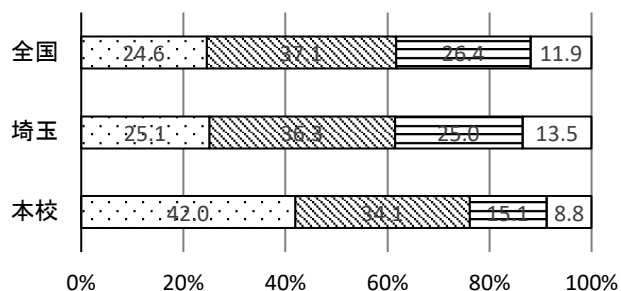
話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導していきます。その際、必要に応じて話合いの話題について確認したり、話合いの経過を捉えたりすることができるよう指導していきます。

例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話合いの記録の仕方などを確認した上で、実際に記録を取りながら話合いを行うなどの学習活動が考えられます。その際、話合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えたりするなど、話合いの仕方を見直ししながら進めるように指導していきます。

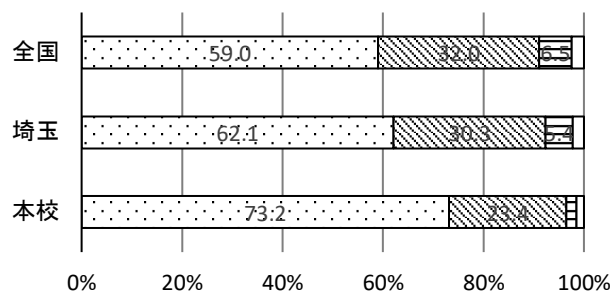
国語に対する意識状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）

…あてはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

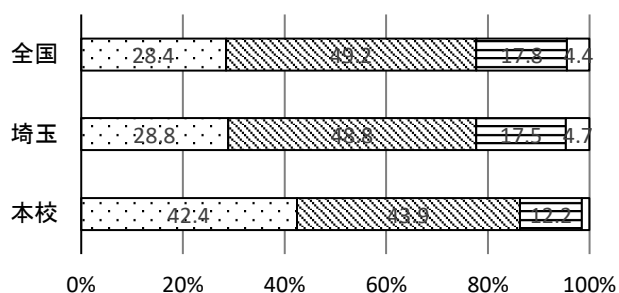
国語の勉強は好きですか



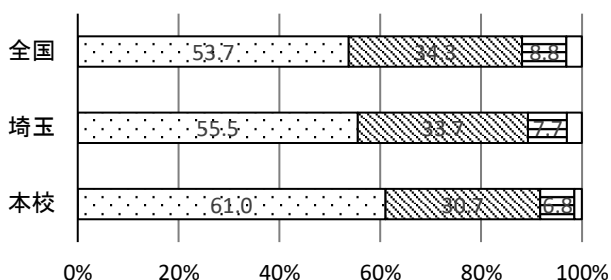
国語の勉強は大切だと思いますか



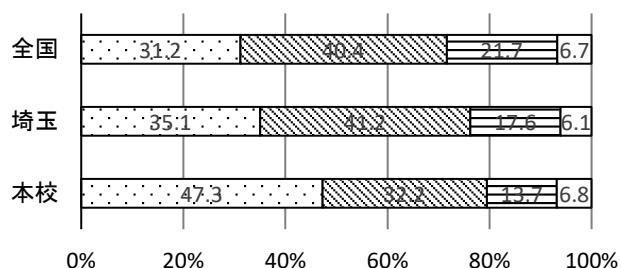
国語の授業の内容はよく分かりますか



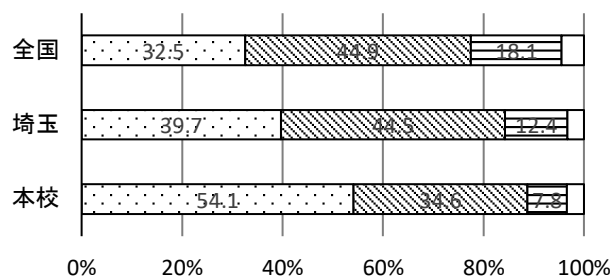
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



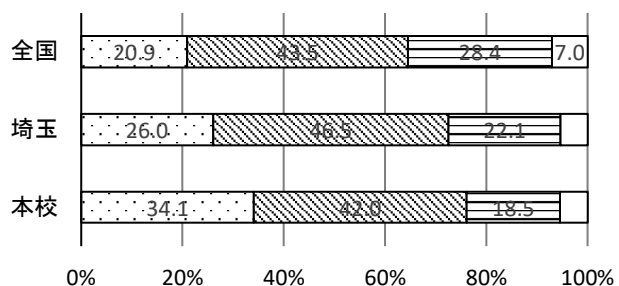
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか



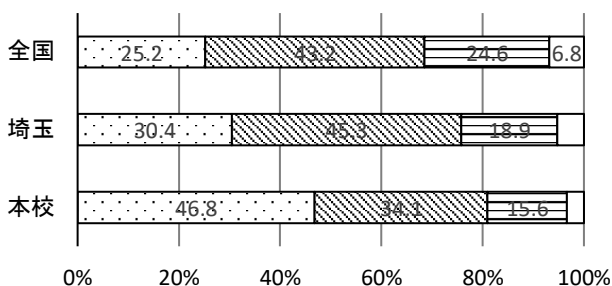
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか



国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか



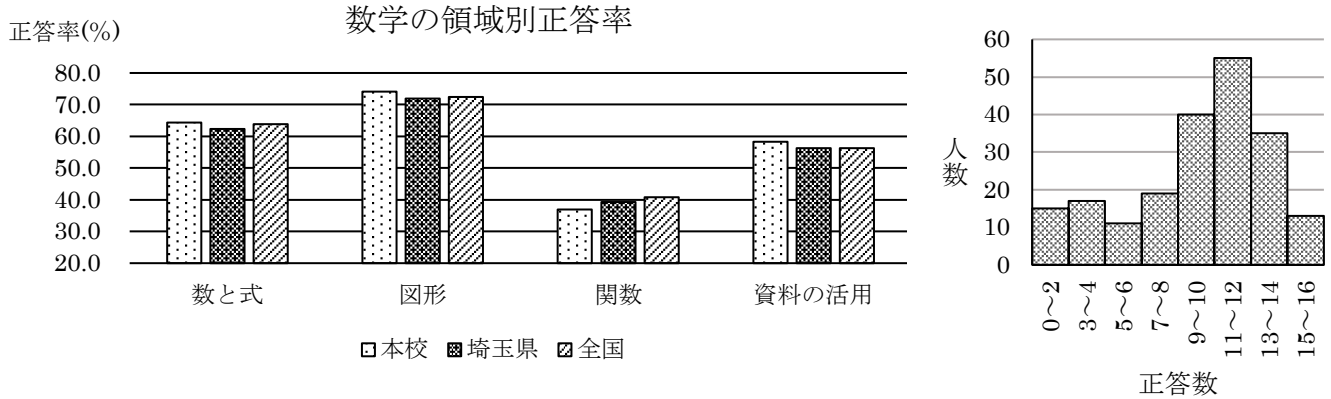
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか



国語に対する意識調査ではすべての質問で、肯定的な回答が全国平均や県平均を上回っていることがわかります。特に、国語の授業で学習したことを普段の生活に活用している生徒が8割もいます。

このことから、授業において日常生活に関連する内容を多く取り上げ、生徒の興味関心をさらに高めていきます。

数学は「関数関係」の理解に課題



数学で正答率が全国平均を上回った問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	73.2	70.1
$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	86.3	83.6
証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	80.0	75.8
四角形 $ABCD$ がどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	56.1	53.3
読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	63.9	57.9
図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる	60.0	53.6
説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	59.5	57.4
連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	72.7	69.6

数学で正答率が全国平均を下回った問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	58.5	62.2
反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる	46.3	48.9
2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる	70.7	72.8
冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差を表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる	34.6	38.8
冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	29.8	34.7
ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	74.1	77.2
「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	38.5	40.8
連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	58.0	59.7

<今後の学習指導に当たって>

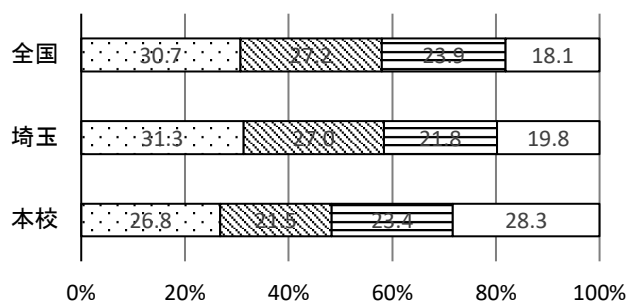
領域別正答率のグラフから、関数領域だけが全国・埼玉県を下回っています。また、他の領域に比べ、正答率が低くなっていることもわかります。特に今回は、日常の事象を数学的に解釈し問題解決する方法を考える問題（冷蔵庫の使用年数と総費用の問題）の正答率が低いことがわかります。

授業では、数学的活動の中で日常事象に関する問題を多く取り上げ、問題解決の構想や見通しを立て、問題解決の方法について説明する活動を重視します。また、立てた構想や見通しと問題解決の方法の説明について比較し、方法の説明について吟味することで、説明を洗練させていけるようにします。

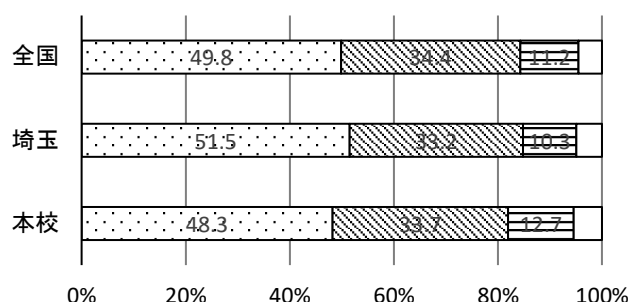
数学に対する意識状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）

…あてはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

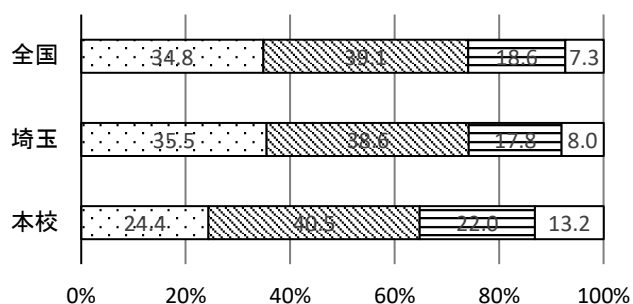
数学の勉強は好きですか



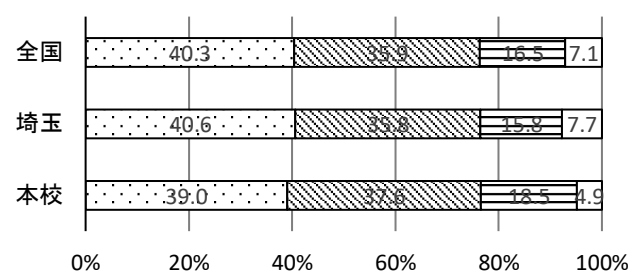
数学の勉強は大切だと思いますか



数学の授業の内容はよく分かりますか



数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

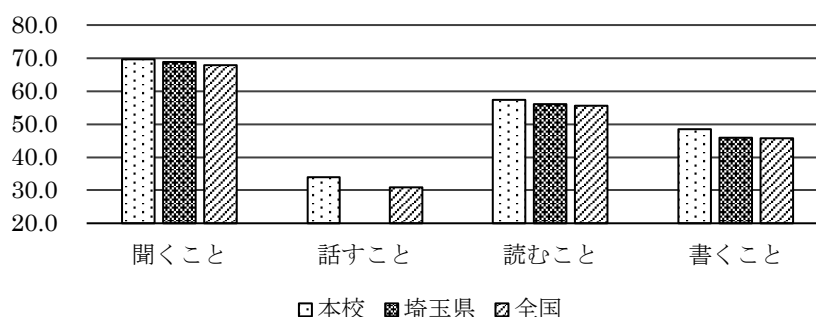


数学に対する意識調査の質問では、すべての項目において、肯定的な回答が全国平均や県平均を下回っていることがわかります。しかし、数学の勉強は大切であり、学習内容は将来、社会に出て役立つと回答している生徒が8割近くいます。そこで学校では、わかりやすい授業を実践し、一人でも多くの生徒に数学が好きになってもらえるように努めます。

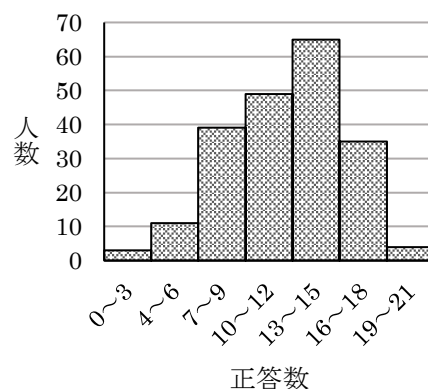
英語は「話すこと」「書くこと」に課題

正答率(%)

英語の領域別正答率



※「話すこと」については、未実施校があるため、県平均は公表されていません。



英語で正答率が全国平均を5ポイント以上上回った問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる	68.0	62.9
文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	87.4	79.9
一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	40.8	32.9
	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	43.2	37.4

英語で正答率が 40%以下の問題

問題の概要	出題の趣旨	本校	全国
来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	11.2	7.6
チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる	37.4	34.3
食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	9.2	10.9
与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	26.2	28.9
学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	0.5	1.8
カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	22.1	27.3
バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える	適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	29.4	25.7
ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする	聞いて把握した内容について、やり取りすることができる	12.3	10.5

＜今後の学習指導に当たって＞

読んだことについて、自分の考えを述べる際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解することが大切です。指導に当たっては、読む目的に応じて要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を工夫していきます。

具体的な指導としては、以下のような手順の言語活動を行います。

- ① 教科書等に取り上げられている環境問題などに関する説明文を読み、書き手の主張を数文でまとめる。
- ② 話題になっている問題に対して、自分ができることなどについてペアやグループで尋ね合ったり伝え合ったりする。
- ③ 活動の合間に、自分の使った英語を振り返り、表現の正確さを高める。
- ④ ペアやグループで伝え合ったことを、最終的な自分の意見として簡潔に書いてまとめる。

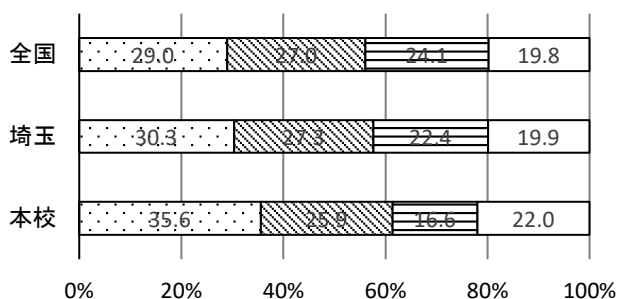
また、文を正しく書くためには、言語材料の定着が必要です。コミュニケーションにおいて時制や人称は大事な事柄であり、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが大切です。

指導に当たっては、一文のみを示して空欄の動詞の形を変えさせるのではなく、対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考えさせる活動などを行います。その際、確実な定着を図るためにある程度の分量の練習をさせます。

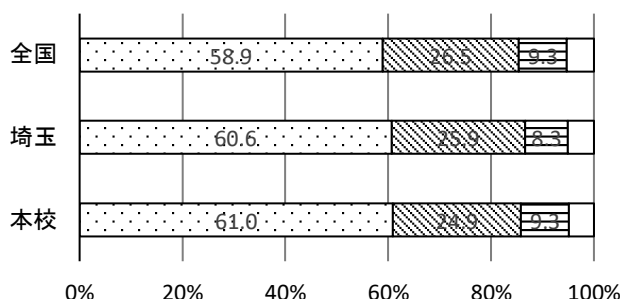
英語に関する状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）

 …あてはまる
  …どちらかといえば当てはまる
  …どちらかといえば当てはまらない
  …当てはまらない

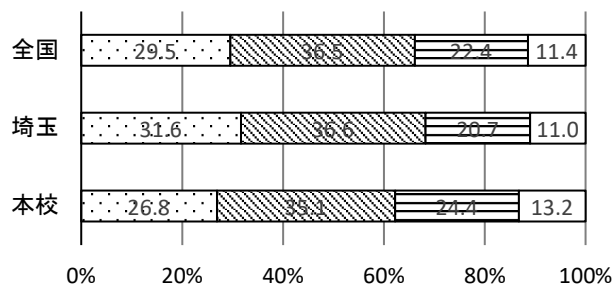
英語の勉強は好きですか



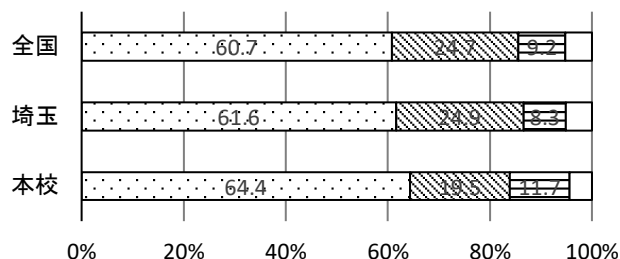
英語の勉強は大切だと思いますか



英語の授業はよく分かりますか



英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



「英語の勉強は大切だと思いますか」「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合はどちらも8割以上です。そのため、「英語の勉強が好きですか」の質問に対して6割以上の生徒が肯定的に答えているのと考えられます。「英語の授業はよく分かりますか」も6割以上が肯定的な回答ですが、全国や県平均を下回っています。これからも、わかりやすい授業の実践に努めてまいります。

質問紙調査の結果と考察

全国・学力学習状況調査では、学力調査と併せて、質問紙調査を実施しています。その結果について考察します。

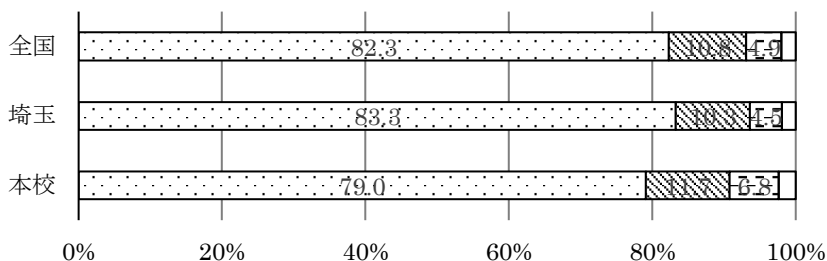
<基本的生活習慣等>

…している
 …どちらかといえばしている
 …あまりしていない
 …全くしていない

3年生は、90%以上が「食べている」「どちらかといえば、食べている」と回答しています。また、「全く食べていない」生徒は5人だけでした。

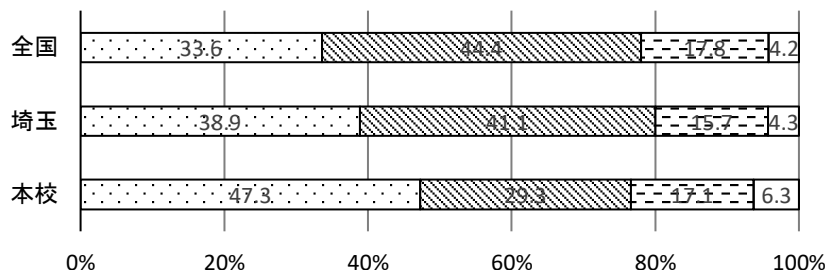
今後も、朝食を毎日摂取できまよう、各ご家庭でのご協力をお願いします。

朝食を毎日食べていますか



就寝時刻については、約8割の3年生が、ほぼ毎日同じくらいの時刻に寝ていることがわかり、全国の平均値とほぼ同じ結果になりましたが、全くそうしていない生徒がやや多い傾向になりました。

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



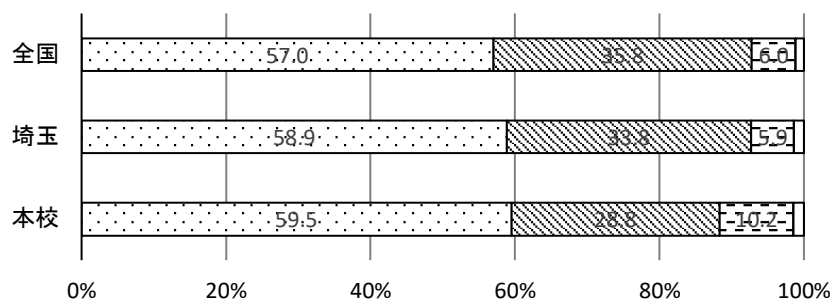
起床時刻についても同様です。同じくらいの時刻に「起きている」と「どちらかといえば起きている」を合わせると80%以上になりましたが、「あまりしていない」生徒が、やや多くなっています。

本校には、遅刻する生徒がほとんどいないのも、この調査結果から納得できます。

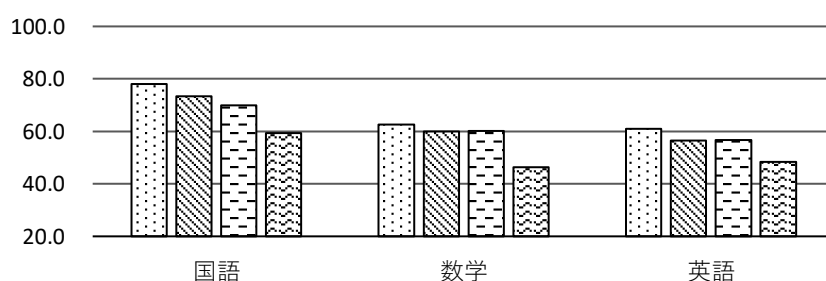
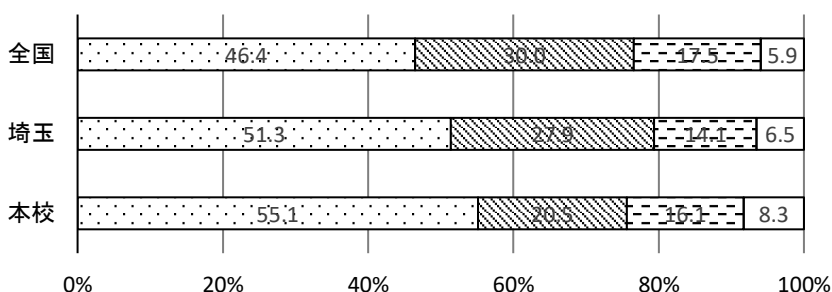
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますかという質問に対して、「している」と応えた生徒は全国・県平均よりも多く、「全くしていない」と応えた生徒も全国・県平均よりも若干多くなりました。

また、このことについては、肯定的な回答をした生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。ご家庭での会話の時間を大切にしてほしいと思います。

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



家の人と学校での出来事について話をしますか



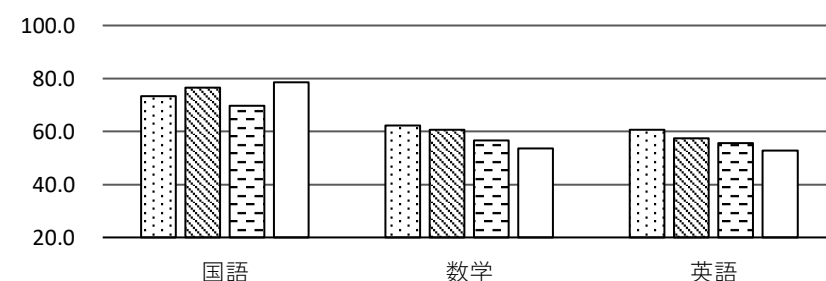
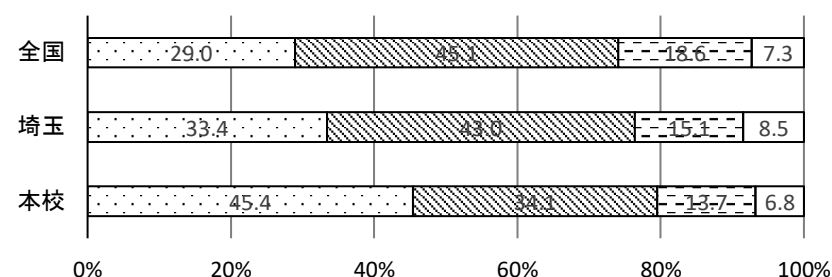
＜自己有用感、達成感、挑戦心、規範意識等＞

…当てはまる …どちらかといえば当てはまる …どちらかといえば当てはまらない …当てはまらない

「自分には良いところがあると思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は、およそ80%で、全国、県平均を上回っています。

このことと、各教科の平均正答率の関連を見ると、肯定的に回答している生徒の方が、数学と英語の、平均正答率が高い傾向が見られました。

自分には、よいところがあると思いますか



「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」の質問も、肯定的に回答した生徒の割合は、90%を上回り、全国・県平均を上回っています。

このことについては、教科の平均正答率に相関が見られませんでした。

本校では、本年度の学校研究として「主体的、対話的に学ぶ道徳の授業実践と評価の研究」に取り組んでいます。教科指導や道徳教育の中で、生徒を認め褒める指導に積極的に取り組んでいきます。

ご家庭においても、お子さんを認める・褒める場面を多くつくっていただければと思います。

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約75%で、ほぼ県平均と同じ結果でした。

キャリア教育をさらに充実させ、夢や目標を持った生活ができるようにしていきます。

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問に肯定的に回答した生徒は90%以上いました。

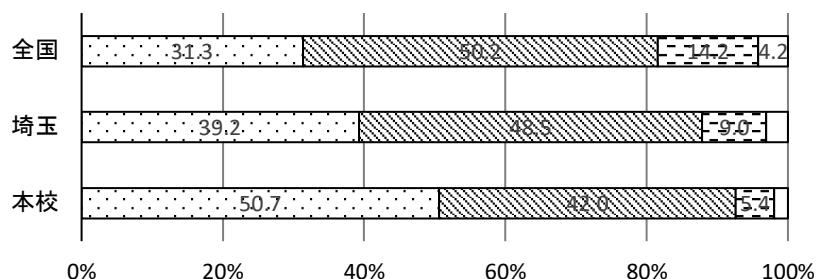
このことと、各教科の平均正答率の関連を見ると、肯定的に回答している生徒の方が、国語と数学の、平均正答率が高い傾向が見られました。

これからも、成功体験ができる場面を多くつくっていきたいと思います。

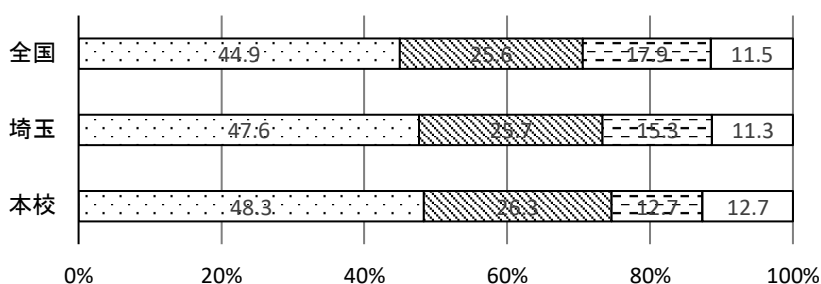
「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問に、肯定的に回答した生徒は70%以上いました。

このことと、各教科の平均正答率の関連を見ると、肯定的に回答している生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

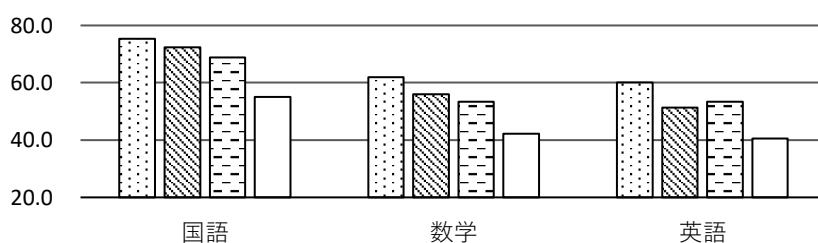
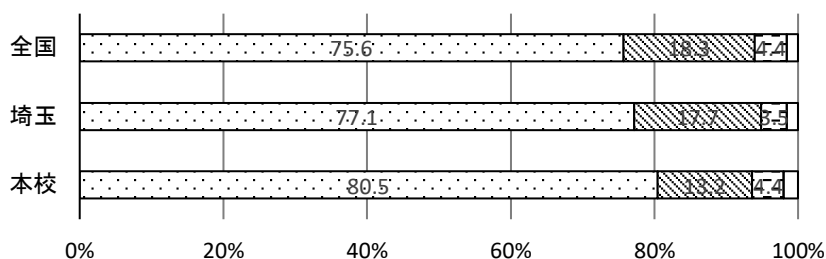
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか



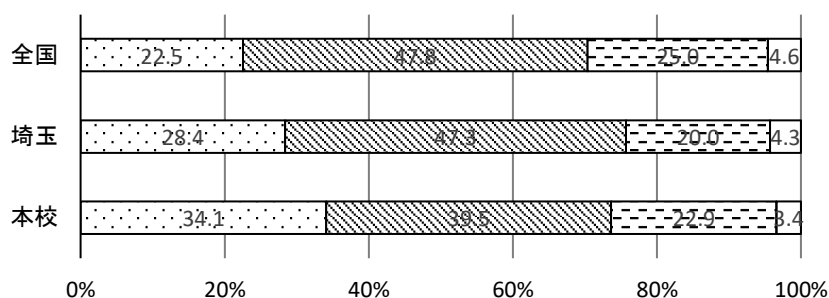
将来の夢や目標を持っていますか



ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



これからも、チャレンジする場面を多くしていきたいと思えます。

「学校に行くのは楽しいと思えますか」の質問に肯定的な回答をしている生徒は、約80%でしたが、1割ほど「楽しくない」と思っている生徒がいます。

皆が、楽しく学べる学校づくりに努めてまいります。

普段の3年生の行動を見ても、学校の規則を守れない生徒はほとんどいないことが分かります。

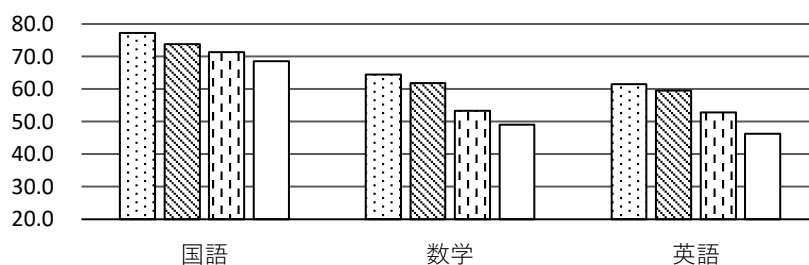
調査結果からも、肯定的な回答の生徒は96.6%、全く守れない生徒は2人で、ほぼ全員が学校の規則をしっかり守っていることが分かりました。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」にも肯定的な回答が90%以上あり、全国・県平均を上回っています。

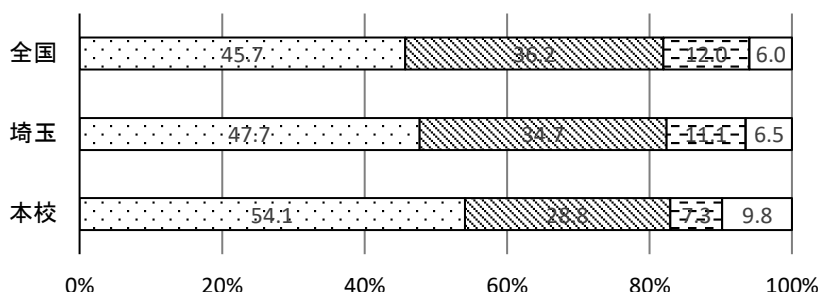
毎年数件、地域の方から「大井中の生徒に助けてもらった」など、お礼の電話やお手紙をいただいています。校内だけでなく校外でも思いやりの心が育っています。

ほとんどの生徒が、いじめは、「どんな理由があってもいけないことだ」と思っていて、全国・県平均とほぼ同じ割合になっています。しかし、11人ですが否定的な回答をしている生徒がいます。

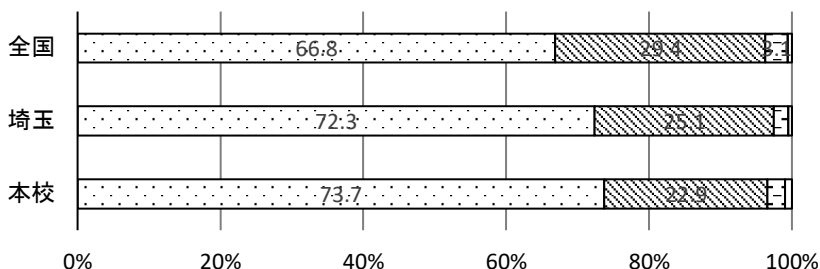
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



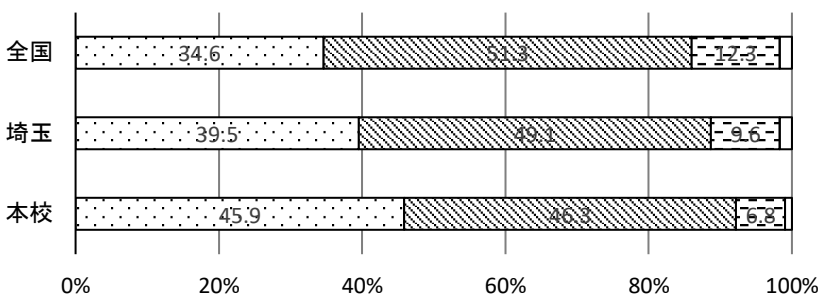
学校に行くのは楽しいと思えますか



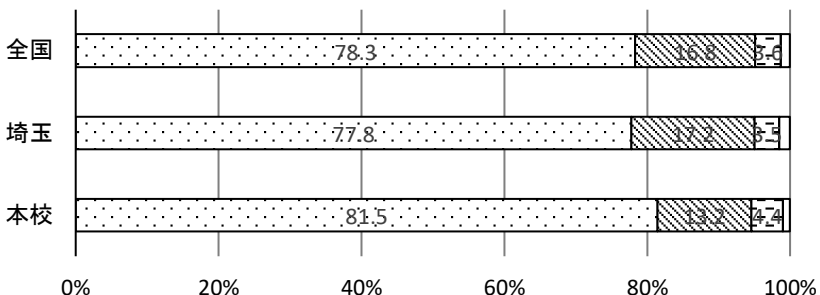
学校の規則を守っていますか



人が困っているときは、進んで助けていますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



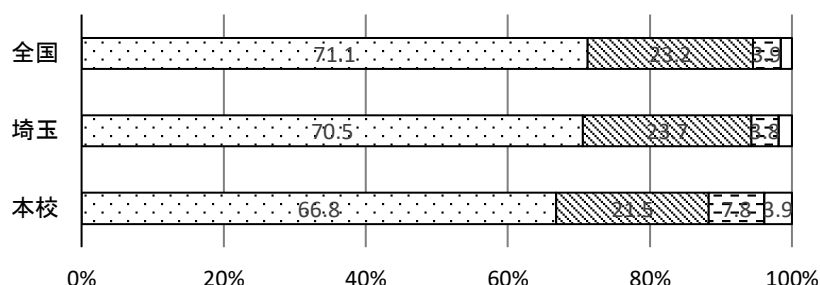
学校教育において、否定的な考えの生徒も肯定的な考え方ができるように、道徳の時間をはじめとしたあらゆる場面で指導をしていきます。

本校の教職員全員が、「いじめは、いつでも、どの子にも、どの学校でも起こり得る」という考えに立ち、子供達が、豊かな学習環境の中で、安全に安心して学ぶことができる学校を目指しています。また、日々の教育活動の中で、子供達が、自分としっかり向き合い、自らの生き方を考え高めていけるように、さらには、人や社会、自然や文化等とのかかわりの中で自他を大切にする心を育ていけるように、人としての生き方を学ぶ教育にも積極的に取り組んでいきます。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問には、約88%が肯定的な回答をしていますが、全国・県の平均を下回っています。

道徳教育やキャリア教育を中心に体験的な活動を通して、育てていきます。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



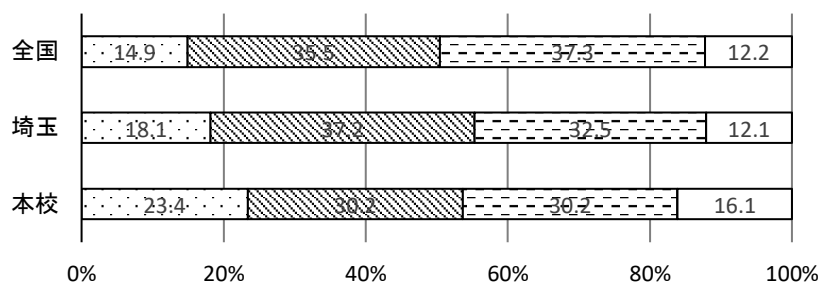
<学習習慣等>

…している
 …どちらかといえばしている
 …あまりしていない
 …全くしていない

家で計画的に勉強できている生徒が半数以上いて、ほぼ全国平均と同様の結果になりました。

本校では、定期テストの前には家庭学習計画表を作成させ、勉強に取り組ませています。ご家庭においては普段から、計画的な学習ができますようにご協力をお願いします。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

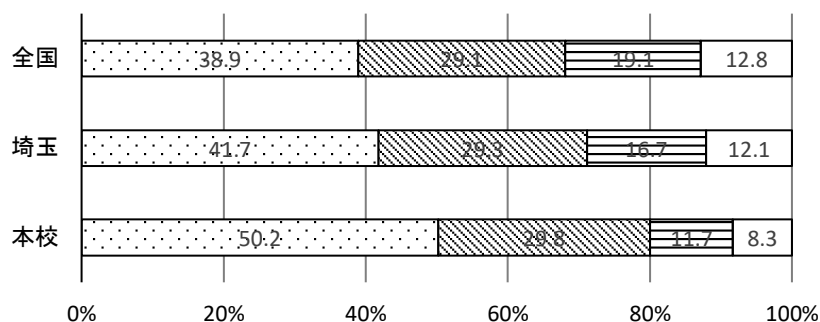


…当てはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

80%の生徒が、「読書好き」と応えており、全国、県平均よりも多いことが4わかります。

本校では10分間の朝読書を実施していますが、これからも読書の楽しさを伝えていきたいと思っています。また、読書はすべての教科の基本になるものであると考え、今後も読書指導に取り組んでいきます。

読書は好きですか



<地域や社会に関わる活動の状況等>

…当てはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

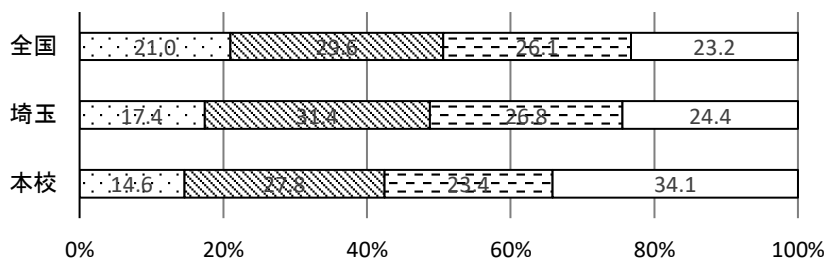
地域の行事への参加については、約42%の生徒が当てはまると回答していて、全国や県平均よりも低い結果となりました。

しかし、昨年度の回答と比べて少しですが、参加率が上がってきています。地域の皆様からお声がけをいただき、参加の機会が増えてきているのだと思います。

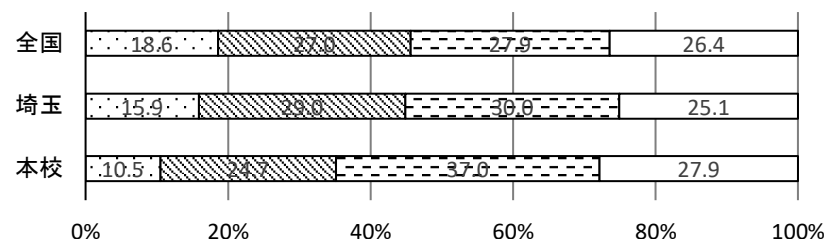
また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」生徒は、全国・県平均に比べて、やや多くなっています。地域社会の一員として、何かできることがないかと考える生徒も増えてきていると思われます。

これからも、地域行事への参加を呼びかけていきますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

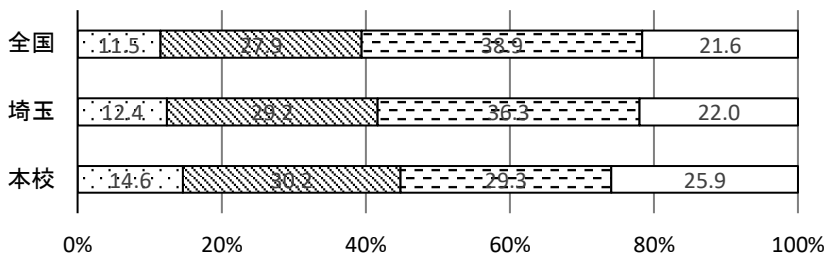
今住んでいる地域の行事に参加していますか(本年度)



今住んでいる地域の行事に参加していますか(昨年度)



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



<主体的・対話的で深い学びの視点に関すること>

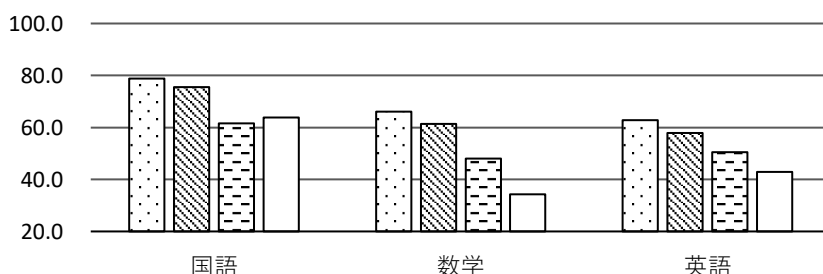
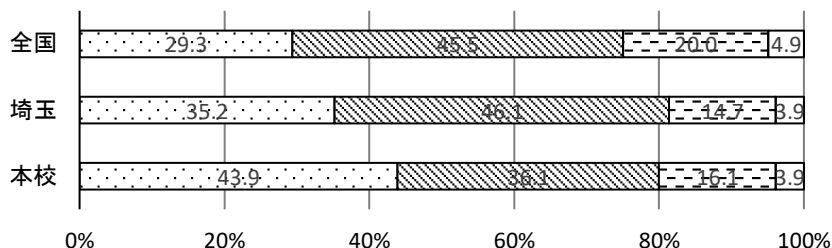
…当てはまる
 …どちらかといえば当てはまる
 …どちらかといえば当てはまらない
 …当てはまらない

平成29年に告示された、学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

しかし、従来と全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はなく、従前から行われていた「自ら考え、自ら課題に取り組む」ことや、「自分の考えを発表する機会では工夫して発表する」ことが大切です。

1, 2年生のときのこれらの取組状況について質問した結果が、右のグラフになります。

1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は80%で、全国平均より高い結果になりました。

また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は60%以上で、全国、県平均より高い結果になりました。

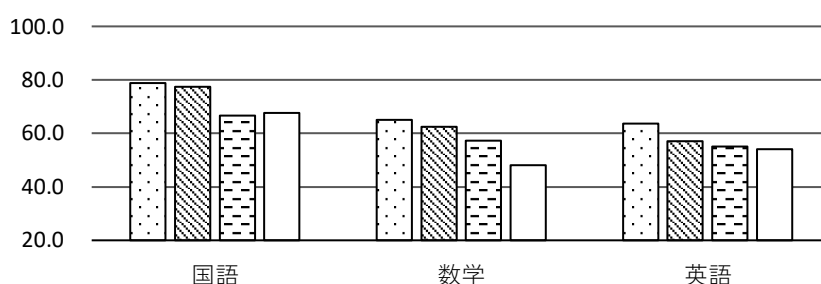
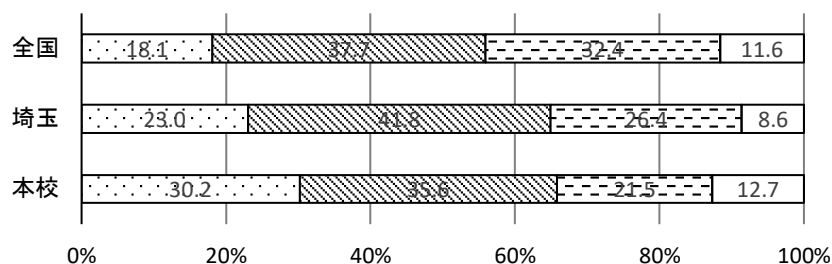
これらの結果と、各教科の平均正答率の関係をを見ると、肯定的な回答をした生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

さらに、深い学びに関して「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」の質問に、肯定的に回答した生徒の割合は80%以上で、こちらも全国、県平均より高い結果になりました。

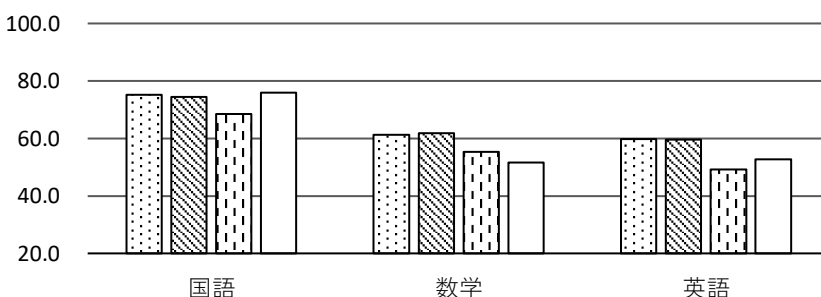
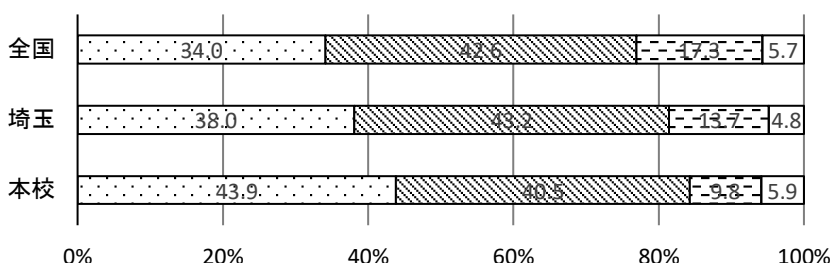
しかし、この質問は道徳の授業について質問したためもあるのか、教科の平均正答率には相関が見られませんでした。

今後も、令和3年度の新学習指導要領の全面実施に向け、指導方法の工夫・改善に努めて参ります。

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか



平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査報告書・調査結果資料は国立教育政策研究所のホームページからご覧いただけます。

<https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>